

● 平成30年度 5年生 年間指導計画(50h) 中丹版

順序	学期	使用教材	単元	タイトル	標準 時数	配当 時数	順序	略案	表現	配列のポイント	HF等との 関連	文字指導 (S&L)	HF Plus の 活用	単元目標
①	一 学 期 (16 h)	HF1	L1	Hello! 言語 挨拶	2	1			Hello. My name is~. What's your name? Thank you. Good bye.	新5U1と同じ内容のため1時間短縮 する。※曜日や日付なども挨拶と共 に慣れ親しませておくことも考えら れる。	3-U1 4-U1 5-U1 6-U1			【コ】進んで挨拶しようとする。 【慣】挨拶の言い方に慣れ親しむ。
②		HF1	L2	I'm happy. ジェスチャー 感情・様子	2	1			How are you? I'm happy.	ジェスチャーや感情・様子な どについては毎時間扱う内容 なので最初に配置する。	3-U2			【コ】進んで表情やジェスチャーを付けて挨拶しようとする。 【慣】挨拶の言い方に慣れ親しむ。 【気】ジェスチャーの大きさに気付く。
③		HF1	L3	How many? 数 身の回りの物	4	4			How many pencils? Five pencils.		3-U3			【コ】進んで数を数えたり尋ねたりしようとする。 【慣】1~20の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。 【気】言語には、それぞれの特色があることに気付く。
④		HF1	L4	I like apples. 果物 食べ物 飲み物 スポーツ 生き物	5	5			I like~. I don't like~. Do you like~? Yes, I do./ No, I don't.	前時で複数形を扱っているので、 この単元ではlike~(s, es)の表現 に慣れ親しませる。	3-U4 4-U1 4-U3 5-U1 6-U1			【コ】進んで、 <u>好みを尋ねたり答えたり</u> して伝え合おうとする。 【慣】 <u>色の言い方</u> や、好きかどうかや <u>何が好きかを尋ねたり答えたり</u> する表現に慣れ親 しむ。 【気】多様な考え方があることや、外来語を通して音声やリズムについて日本語と英語 の違いに気付く。
⑤		HF1	L6	What do you want? アルファベット大文字 身の回りの物	5	5 16	★	△	What do you want? The 'A' card, please.		3-U6 3-U7 4-U7 5-U1	大文字 読む	① ②-1 ②-2 ②-3	【コ】進んで、欲しいものを尋ねたり答えたり、 <u>活字体の大文字を読んだり</u> しようとする。 【慣】 <u>欲しいものを尋ねたり答えたり</u> する表現に慣れ親しむ。また、 <u>活字体の大文字とそ の読み方(名称)</u> に慣れ親しむ。 【気】身の回りにはアルファベットの文字で表されているものが多いことに気付く。
⑥	二 学 期 (21h)	HF1	L5	What do you like? 色 形	4	4	★		What do you like? What animal/ color/ fruit/ sport do you like? I like rabbits/ red/ bananas/ soccer.		3-U4 3-U5	a b c d 空書		【コ】進んで、 <u>好きなものについて尋ねたり答えたり</u> しようとする。 【慣】 <u>色や形、好きな物は何かを尋ねる</u> 表現に慣れ親しむ。 【気】日本語と英語の音声の違いに気付く。
⑦		HF1	L7	What's this? 身の回りの物	4	4	★		What's this? It's a piano.		3-U8 3-U9 4-U5	e f g h 空書		【コ】進んで、 <u>ある物についてそれが何かと尋ねたり、答えたり</u> しようとする。 【慣】 <u>ある物が何かと尋ねたり、答えたり</u> する表現に慣れ親しむ。 【気】日本語と英語の共通点や相違点から、言葉の面白さに気付く。
⑧		新4	U6	Alphabet アルファベットで文字遊びをし よう	4	4	★		Look. What's this? Hint, please. How many letters? I have (six). Do you have (a 'b')? Yes, I do./ No, I don't. That's right. Sorry, try again.	前単元で扱ったWhat's this?の続き で小文字の文字遊びを行う。	2-L1	小文字 読む (i j k l) 空書	④ ⑤-1 ⑤-2 ⑤-3	【コ】進んで、 <u>活字体の文字について尋ねたり答えたり</u> しようとする。 【慣】 <u>活字体の小文字とその読み方</u> に慣れ親しむ。 【気】身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付く。
⑨		新5	U1	Hello, everyone. アルファベット・自己紹介	8	2	★	○	Hello, I'm (Saki). Nice to meet you. My name is (Kosei). How do you spell your name? K-O-S-E-I. I [like/ don't like] (blue). What (sport) do you like? I like( soccer) very much. I want (a new ball).	前単元までにやってきた表現を含 めた自己紹介を行う。この単元ま でにある程度大文字にも慣れ親 しんできている。	1-L1 1-L4 1-L6 2-L1	(m) 空書	③	【コ】進んで、 <u>簡単な自己紹介</u> しようとする。 【慣】 <u>好きなものや、欲しいものなどを表したり尋ねたり</u> する表現に慣れ親しむ。また、 <u>活 字体の大文字を読む</u> ことに慣れ親しむ。
⑩		HF1	L9	What would you like? 食べ物 料理	4	4	★		What would you like? I'd like a hamburger. How much? It's ( two dollars ). Here you are. Thank you.	文科省からは来年度値段のやり とりを扱うとなっているが、計画に 入れられていない為、この単元で 青字のやりとりを追加して行う。	3-U5 5-U8	n o p q 空書	⑨-2	【コ】進んで、 <u>欲しいものについて丁寧に尋ねたり答えたり</u> しようとする。 【慣】 <u>欲しいものについての丁寧な表現の仕方や尋ね方</u> に慣れ親しむ。 【気】世界には様々な食生活があることや、欲しいものを尋ねたり言ったりする際に英語 にも丁寧な表現があることに気付く。
⑪	新5	U3	What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業	7	3 21		○	Do you have (P.E.) on (Monday)? Yes, I do. / No, I don't. What do you have on (Monday)? I study (math). I want to be (a teacher). I want to study (math).		1-L8 2-L8	大文字 書く (r s) 書く	① ②-1 ②-2 ②-3 ⑦-4	【コ】進んで <u>教科について尋ねたり答えたり</u> しようとする。 【慣】 <u>教科について尋ねたり答えたり</u> する表現に慣れ親しむ。また、 <u>活字体の大文字を 読んだり書いたり</u> することに慣れ親しむ。 【気】世界には様々な学校があり、日本と世界の学校生活の共通点と相違点に気付 く。	
⑫	三 学 期 (13h)	新5	U5	She can run fast. He can jump high. できること	8	5		○	Can you (sing well)? Yes, I can./ No, I can't. [ I/ You/ He/ She]can/ can't](sing well).		2-L3	(t u v w x) 書く	⑦-4 ⑦-5 ⑥-2 ⑥-3	【コ】 <u>自分や第三者についてできることやできないこと</u> などを紹介し合おうとする。 【慣】 <u>自分や第三者について、できることやできないこと</u> を尋ねたり言ったりする表現に 慣れ親しむ。また、 <u>小文字を読む</u> ことに慣れ親しむ。 【気】言語や人、それぞれに違いがあることに気付く。
⑬		新5	U7	Where is the treasure? 位置と場所	8	3		○	Where is the treasure? Go straight ( for three blocks). Turn [right/ left] (at the third corner). You can see it on your [right/ left]. It's [on/ in/ under/ by] ( the desk).		2-L4	小文字 書く (y z) 書く	④ ⑤-1 ⑤-2 ⑤-3 ⑦-5	【コ】進んで <u>場所を尋ねたり道案内をし</u> たりしようとする。 【慣】 <u>道案内や、物の位置を尋ねたり答えたり</u> する表現に慣れ親しむ。また、 <u>活字体の 小文字を読んだり書いたり</u> することに慣れ親しむ。 【気】日本語と英語では道案内の仕方に違いがあることに気付く。
⑭		新5	U9	Who is your hero? あこがれの人	8	5 13		○	Who is your hero? This is my hero. [He/ She] is good at (playing tennis). [He/ She] is a good (tennis player). [He/ She] can (cook well). [He/ She] is [kind/ cool/ great/ strong/ gentle/ active/ brave/ funny].			復習 予備	⑥-1 ⑥-2 ⑥-3	【コ】 <u>自分があこがれたり尊敬したりする人</u> について、自分の意見を含めて紹介し合おう とする。 【慣】 <u>第三者が得意なことを表す表現</u> に慣れ親しむ。また、文字を読んだり書いたりする ことに慣れ親しむ。 【気】英語と日本語では、書き方に違いがあることに気付く。

※順序の欄の★は、指導する順序を入れ替えた単元。

略案の欄の○は、指導略案を作成する単元。略案の欄の△は、「Alphabet Jingle」・「Sounds & Letters」の活動を導入する単元。

HF等との関連欄には、HF使用の単元は新教材のUnit番号を、新教材使用の単元はHFのLesson番号を示す。

HF Plusの活用欄には、文字指導(書く)をする際に活用できるワークシートの番号を示す。

学年終了時にはアルファベットの大文字、小文字を4線の上に正確に書き写すことができるようにする。また、最後の単元「Who is your hero?」では、相手意識をもって自分のヒーローを人前で紹介できるようにする。

絵本については単元で扱うのではなく、特設で扱うこととする。